

学術集会 ご案内



会長

杉野 法広

山口大学大学院
医学系研究科
産科婦人科学
教授

第21回 日本生殖内分泌学会学術集会を迎えて

この度、第21回日本生殖内分泌学会学術集会を担当させていただくことになり、大変光栄に存じます。

本学術集会は、生殖内分泌学に関わる基礎系および臨床系のさまざまな分野の研究者が一同に集い、最新の知見を発表し議論する場として、大きな役割を担っています。特に、若い世代の研究者の育成と互いの交流が本会の発展には重要です。

近年、生命科学・医学の研究において、創薬、医療開発、技術革新などの重要性から、研究テーマが重点化され、特定の研究分野が推進され、国際競争も激化しています。その一方で、地道な基盤となる基礎的な学術研究の重要性も指摘されています。研究に携わる我々は、研究が本来、楽しいものであるから続けているのではないのでしょうか。知的好奇心、「知る、見つけることの楽しさ」に研究の原点があるのではないかと、私は、あらためて思っています。

うれしいことに、最近の学術集会は、発表演題数が多くなり、そして内容も高いレベルになっていると感じています。過去の抄録集を振り返ってみますと、2011年までは、一般演題が30題前後でしたが、2012年は48題、2013年は57題、2014年と2015年は40題と発表演題が増加しています。その一方で、日程が限られていることから、演題数の増加に伴い発表と質疑の時間が短くなっています。そこで、本学術集会では、抄録申し込みの時点で多くの演題が集まれば、シンポジウムは行わずに、その時間を一般演題に分配し、少しでも活発な議論をしていただき、若手の研究者の皆さんに、「知る、見つけることの楽しさ」をあらためて実感してほしいと考えています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期：平成29年1月14日（土）
会 場：千里ライフサイエンスセンター
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 TEL：06-6873-2010

主要プログラム：

特別講演

演者：伊川正人先生（大阪大学微生物病研究所・遺伝子機能解析分野 教授）

演題：「ゲノム編集による遺伝子改変マウス作成技術の開発とその応用（仮）」

ランチョンセミナー

演者：小林隆夫先生（浜松医療センター院長）

演題：「わが国における女性ホルモン剤使用に関連する血栓塞栓症の現況」

一般演題

リサーチアップデートなど（未定）

問い合わせ先：第21回日本生殖内分泌学会運営事務局
山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座
TEL：0836-22-2288 FAX：0836-22-2287
E-mail：seishoku@yamaguchi-u.ac.jp

第21回日本生殖内分泌学会学術集会 会長

杉野 法広

山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学